

第1回
定例会

一般質問

第1回定例会の一般質問は、3月8日、9日の2日間行われ、9名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。



轟見 久美子 議員



物価高騰軽減対策について

問 新型コロナウイルス感染症や世界情勢悪化などの影響により、電気・ガス・水道料金・食材・日用品など日常に欠かせない物が値上がりしている。地方創生臨時交付金による経済支援を行っているが、今後①プロパンガスの助成と②小規模農家の肥料購入費助成について、課題と所見について伺う。

答（企画政策部長） ①助成は検

討したが、ほぼ全世帯が対象となり、財源とする交付金や他事業との調整の結果、見送った。同交付金制度が継続した場合は再度検討したい。

答（産業部長） ②同様の交付金が交付された場合は、市全体の交付対象事業を考慮しながら国・県の助成制度を見極め、農業の経営安定を図れるような助成制度や、手続き等の簡素化についても検討していきたい。



市内農家の稲刈り

ICT教育について

問 ICTを活用したオンライン教育が広がる中、自治体にかかる修理費などが問題視されている。タブレット活用に伴う①年間の修理・故障の件数と修理費等補償の現状、②保険加入の現状と破損・紛失時の保護者負担額の上限設定について伺う。

答（教育部長） ①令和4年度は2月21日現在、合計108件である。補償は事故報告書の内容で判断し、ほとんどが過失のため公費で修繕している。②保険は修繕費用との比較を行い、現在は加入していない。保護者負担額の上限設定も各種費用を比較検討し、学習用端末の利用がより図られるよう努めたい。